

## ウクライナにおける障害者の安全確保と即時戦闘停止を求める声明

私たち全国手をつなぐ育成会連合会は、日本で活動する、知的・発達障害者と家族、支援者で構成される障害者団体です。

現在、ロシアによるウクライナ侵攻が続いており、ウクライナ各地で激しい戦闘が続いています。停戦交渉や人道回廊などの取組みも報道されていますが、すでに戦闘開始から1か月が経過し、一般市民への被害も甚大なものになっています。

こうした中、報道によれば子どもや高齢者も多数犠牲になっているようです。お亡くなりになった方へのご冥福と、被害に遭った方へのお見舞い申し上げます。一方、大きく報道はされていませんが、ウクライナに住む障害のある人にも、多大な被害が生じていることは間違いありません。とりわけ知的・発達障害者の場合には言語コミュニケーションが苦手なため緊急時に取り残されやすく、急激な環境変化がパニックを引き起こして避難を難しくしている可能性も懸念されます。

こうした障害特性によるリスクがより顕在化するのが大規模災害発生の時であり、戦争の時です。多くの大規模災害に見舞われた日本だからこそ、ウクライナの障害者が直面するリスクがより身近に感じられます。ウクライナの障害者に対し、最大限の安全確保を求めるものです。

しかし、それ以上に重要なことは、ただちにウクライナ国内における戦闘が中止されることです。戦闘が続く限り、障害者を含むすべての人へのリスクは消えません。とにかく、まずは即時の戦闘停止が不可欠です。

私たちは、障害の有無に関わらず、この紛争で犠牲となる人、被害を受ける人が1人でも少なくなることを心から願っています。戦闘地域における障害者の安全確保と、即時の戦闘停止を強く求めます。

2022年4月4日

全国手をつなぐ育成会連合会 (New Inclusion Japan)

会長 久保 厚子